

保護者 様

質問紙調査ご協力へのお願い

乳幼児の発熱時における保護者の認識と行動の関連要因の解明

私たちは、『適切な受診タイミングの実行に向けた、乳幼児の発熱時における保護者の受診行動と関連要因の解明』について研究を行っています。

そこで、先の調査で明らかになりました、お子様の発熱時の保護者の行動や思いを基に、これらに関連する要因を明らかにして、発熱時におけるお子様とご家族への最適な支援方法の構築につなげていきたいと考え、この度、保護者の方を対象に調査票を作成致しました。何卒、アンケート調査にご協力賜りますようお願い申し上げます。

【研究の概要】

1. 研究目的

子どもが発熱した時の保護者の行動と認識に関連する要因を明らかにすることです。

2. 対象者

生後 6 か月～5 歳までのお子様の保護者。このお子様の年齢は、子どもは生後 6 か月以降に初めて発熱を経験することが多く、発熱で小児救急外来を受診する子どもの年齢の割合が、5 歳以下が 80% を占めることから設定しています。

3. 方法

調査票にご記入後、調査票と一緒に同封している返信用封筒に記載者ご自身で封をして、返送して下さい。調査票への回答に、15 分ほどお時間がかかります。調査票では、記載者ご自身の行動や認識を振り返って記入して頂きます。この過程で、ご自身の行動や認識を否定するような不快な思いを抱くことが生じる可能性があります。その場合は、無理に回答を続ける必要はございません。

4. 研究への参加・協力の自由意思・拒否権

研究の趣旨や方法についての文書を、お読み頂き内容を十分理解した後に、質問紙調査にご記入ください。ご記入いただいた質問紙調査の大学宛への返送をもって、ご本人様からの研究への参加の同意を得たものと判断させていただきます。

この研究への協力は、自由意志によりますので、この研究に参加しないことで一切の不利益を生じることはありません。また、調査票は無記名であり、番号化して処理するために、調査票提出後の撤回は、不可能となります。

5. プライバシーの保護

質問紙調査には、無記名で回答していただき、回答者ご本人が封筒に入れて郵送する方法で行い

ますので、個人が特定されることはありません。質問紙調査のデータは本研究のみに使用します。郵送して頂いた調査票は、番号化して匿名性を高めるなどプライバシーの保護に十分配慮します。調査結果は、全体で統計処理をして、個人が特定されないようにします。

収集した情報については守秘性を厳守します。郵送して頂いた調査票及び質問紙調査のデータを入力したセキュリティソフト付き USB メモリーは、研究者の研究室にある鍵がかかる場所に保管し、分析作業は大学内で行います。なお、郵送して頂いた調査票と USB メモリーは、研究終了後、シュレッダーで破棄します。必要時には研究協力者に研究結果の開示を行います

6. 研究結果の公表方法

この研究結果は、学会発表および学会誌等で発表をさせていただきますが、その時も個人のプライバシー、情報には十分配慮し、ご迷惑のかからないようにいたします。調査結果の報告書は保育園宛に郵送する予定にしております。

本研究は、奈良県立医科大学医の倫理委員会の審査を受けて学長の許可を得て実施します。

本研究は、利益相反に関して開示すべき事項はございません。

質問紙調査票は、平成 27 年 10 月 10 日までにご返送ください。

ご多忙中とは存じますが、何卒ご協力を賜わりますよう宜しくお願い申し上げます。

研究代表者 奈良県立医科大学医学部看護学科 山田晃子（小児看護学）

分担研究者 奈良県立医科大学医学部看護学科 川上あずさ（小児看護学）

【お問い合わせ先】

〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840 番地

奈良県立医科大学医学部看護学科 小児看護学

研究代表者 山田晃子

TEL : 0744-22-3051 (内線 2746) FAX : 0744-29-7555

Mail : ymakiko@narmed-u.ac.jp